

# 実空間情報連動型ネットワークシステムの研究開発

中村 勝一

株式会社ネットワーク応用技術研究所

研究開発期間：フェーズⅠ：平成26年度

フェーズⅡ：平成27年度～平成28年度

## 研究開発の目的

一定の実空間に存在するユーザグループに対する情報通信サービスを可能とする新たなネットワークシステムの構築

## 研究開発の概要

実空間エリアと実空間上のユーザグループを動的に生成し、各ユーザに対して効率的かつ着実な通信が可能となる手法を確立

### 適用事例

- 非常災害時の活用
  - 避難地域での情報共有
  - 山岳事故支援
- 地域社会での活用
  - 児童見守り
  - 高齢者見守り
- レジャーでの活用
  - 観光
  - イベント



## 期待される研究開発成果及びその社会的意義

- 実空間と連動した新たな情報通信プラットフォームを提供することにより、地域での幅広いアプリケーション開発推進に貢献
- 身近な互助活動推進を支援する等、地域における安心・安全を確保するための人々の行動様式の変化にも貢献

### サブテーマ

- 1) 実空間情報連動型ネットワーク管理システムの研究開発
- 2) 実空間情報連動型通信方式の研究開発